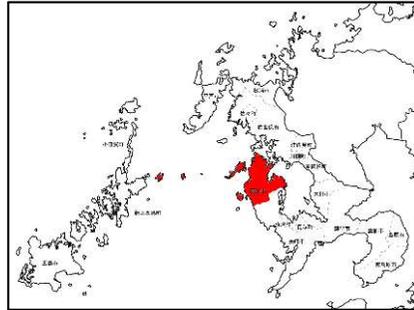


「地方創生整備推進交付金（港整備事業）」を活用した地域再生計画 （長崎県西海市の区域の一部）

五島灘に浮かぶ「島々」の暮らし・経済を支える港づくり計画

作成主体	長崎県、西海市
区域	西海市の区域の一部 （松島港、瀬戸港、平島漁港、丸田漁港）
計画期間	R3～R7年度



◆背景

- 港湾・漁港施設の老朽化により、定期航路の就航や乗降客の利用に支障をきたしている。
- 漁業者が利用する岸壁等の安全性が確保されておらず、漁業者の離職や新規参入者の妨げとなっている。

◆目標

松島港や瀬戸港において、フェリーや高速船の係留施設の集約・更新することで、離島航路の就航安定性の向上や利用客の安全性確保が期待され、交流人口拡大への取組が進められる。また松島港、瀬戸港、平島漁港、丸田漁港において、港内静穏度を確保するための防波堤整備や岸壁の安全施設整備により、漁業就労環境が向上し、漁業就業者の確保されることで、漁村地域の活性化が図られる。

【数値目標】

- ・西海市の宿泊者数の増加 6.0万人（R2）→ 6.2万人（R7）
- ・西海市の漁業従事者の確保 888人（R2）→ 888人（R7）

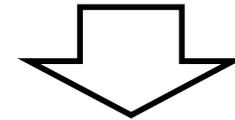
松島港の利用状況



瀬戸港の被災状況



「西海の食」を生かしたイベント実施



◆取組

- 港湾施設及び漁港施設を総合的に整備
 - 港湾施設 外郭施設、係留施設、水域施設、臨港交通施設
 - 漁港施設 係留施設

【地方創生整備推進交付金（港整備事業）（内閣府）】

総事業費 2,561,000千円（うち交付金 1,444,600千円）

○その他の事業

- ・次代を担う漁業後継者育成事業、「長崎西海の魚」流通促進事業
- ・さいかい力で創る感動体験のまち西海事業、「西海の食」を生かしたイベント実施の支援